

Eターフ

取扱説明書

この取扱説明書の「注意事項」「施工要領」をよくお読み頂き、正しい施工とご使用をお願い致します。



Pursue the texture

本物の質感と
高耐久性を追求した
人工芝「Eターフ」。

E -turf

<製品規格>

品名	呼称	品番	規格寸法(mm)	単位	素材	単重量(kg)	備考
人工芝・Eターフ(芝高約40mm)	W1000(防災タイプ)	E245KT-40-1	1000×10000×約40	巻	人工芝共通 ポリプロピレン ポリエチレン	約36.5	
	W2000(防災タイプ)	E245KT-40-2	2000×10000×約40	巻		約73.0	
人工芝・EターフDUO(芝高約20mm)	W1000(防災タイプ)	E245KT-20-1	1000×10000×約20	巻		約27.0	
	W2000(防災タイプ)	E245KT-20-205	2000×5000×約20	巻		約27.0	
	W2000(防災タイプ)	E245KT-20-210	2000×10000×約20	巻		約54.0	
人工芝・EターフV(芝高約30mm)	W2000(防災タイプ)	E245KV-20-205	2000×5000×約30	巻		約27.0	
	W2000(防災タイプ)	E245KV-20-210	2000×10000×約30	巻		約54.0	
人工芝目地 ラインターフ(芝高約20mm)	目地用人工芝	E245RT-0107	1000×70×約20	セット	石油樹脂	約1.4	7枚入り 施工目安0.5㎡
	接着剤 1kg	E245RT-OP01	300×110×70	本		約1.0	
	目地用人工芝 ベース付	E245RTB-0917	約910×約70×約95	セット		約5.0	
人工芝・Eターフオプション	固定ピン(8本入り)	E245KTOP-P150	50×150	セット	鉄(メッキ加工)		8本入り 施工目安約10㎡ 施工目安約20㎡ 施工目安約32㎡
	接着剤 5kg缶	E245KTOP-S05	170×110×280	缶	ウレタンポリマー	5	
	接着剤 10kg缶	E245KTOP-S10	240×240×180	缶	ウレタンポリマー	10	
	接着剤 16kg缶	E245KTOP-S16	240×240×270	缶	ウレタンポリマー	16	
	ジョイントシート	E245KTOP-J300	300×10000	巻	ポリプロピレン		
	両面テープ	E245KTOP-R030	30×15000	巻	ブチルゴム		
防草シート	E砂利下シート85(スタンダードタイプ)	E245KS-01503	1000×50000×約0.31	巻	PET不織布	約5.0	PP=ポリプロピレン
	E砂利下シート85(スタンダードタイプ)	E245KS-0250	2000×50000×約0.31	巻	PET不織布	約10.0	
	E砂利下シート100(透水タイプ)	E245KS-01502	1000×50000×約0.52	巻	PP不織布	約5.0	
	E防草シート250(強力タイプ)	E245KS-0130	1000×30000×約0.60	巻	PET不織布	約8.0	

<Eターフシリーズ>



<Eターフ オプション例>



E砂利下シート 100 (透水タイプ)



接着剤 5kg缶 (左)、ジョイントシート (右上)
両面テープ (中央)、固定ピン (中央下)

<よくある質問事項 Q&A>

Q 1 耐久年数はどのくらいですか？

A. 本製品を使用する環境により異なりますが、耐久年数は約9年～10年です。(Eターフ,EターフDUO)
本製品は景観用の人工芝ですので、本製品に対する強い衝撃や人工芝上で重量物・突起物を引きずったりしないでください。
パイルの抜けや摩擦による熔けの原因になるだけでなく、耐久年数も落ちてしまいます。 例) 車両の乗り入れ禁止

Q 2 色あせはしますか？

A. 住宅の外壁と同じように使用年数の経過とともに多少色落ちする場合があります。

Q 3 夏場に表面温度は高くなりますか？

A. 本製品の材質がポリエチレン、ポリプロピレンですので直射日光により表面温度は上昇します。
弊社の実験では、気温27℃の環境下で表面温度が約37～38℃になりました。散水する事で表面温度が約10℃下がりますので
お試し下さい。また、日陰を作ることで表面温度の上昇を多少抑えることができます。

Q 4 透水性ですか？

A. 本製品は透水性ではありません。水を通すための水抜き穴があります。
水抜き穴(直径約5mm)は1㎡あたり約80個～100個ありますので、そこから水が抜けます。ただし、下地の水はけが悪い場合は
表面に水が溜まる場合もあります。下地の水はけが心配な場合は、勾配を設ける事で勾配に沿って水が流れるようになります。

Q 5 裏面に「カビ」が発生したりしますか？

A. 本製品の下地上の排水条件が悪い場合はカビが発生する可能性があります。E砂利下シート85(スタンダードタイプ)・100(透水タイプ)
の使用や排水勾配を設ける事で回避できます。

Q 6 他の人工芝と何が違いますか？

A. 本製品は他の製品と比べ、高密度に芝を縫い込んであります。高密度にする事で以下の3点で
他の人工芝との違いが生まれます。(Eターフ,EターフDUO)
・高密度の縫い合わせによりリアルな質感を表現しています。(リアルな質感)
・高密度である為、紫外線が基布に届きにくくなり、製品の劣化を軽減します。(高耐久)
・高密度にする事で優れたクッション性を生み出し、施工時に砂を使わなくても芝が立ちます。

Q 7 ケガをするようなことはありますか？

A. 本製品を加工する際にカッターナイフやハサミを使用しますので、本製品を加工する際は十分ご注意ください。また、固定ピンに
つきましては先端部分が尖っている為、十分ご注意ください。なお、固定ピンにつきましては、素手で触れても危なくないよう
表面にメッキ加工を施してあります。

Q 8 静電気は起こりますか？

A. 本製品の材質上、静電気は起こります。静電気は乾燥状態で起こりやすくなる為、水を撒く事で多少改善されます。
静電気防止グッズを使用されるのもよいでしょう。

Q 9 メンテナンスは面倒ですか？

A. 本製品はメンテナンスフリーです。使用するうちに抜けてくる表面の芝を掃除機等で除去する程度で大丈夫です。ただし、ペットの
便や除草剤等が原因で変色するおそれがございます。ペットの便は除去、除草剤等は洗い流す等の対策が必要です。

Q 10 製品の上で花火やバーベキューをしても大丈夫ですか？

A. 本製品は火気厳禁ですが、防炎性能試験に合格しておりますので、万が一火がついた場合でも燃え広がりにくい仕様になって
おります。ただし、火がついた場所は熔けたり変形したりします。
(試験番号:E2140053(Eターフ),E2140011(EターフDUO),E2140311(EターフV))

Q 11 競技用途に使用したいのですが、使用できますか？

A. 本製品はあくまで景観用途の製品ですので、競技用途でのご使用の際はEターフスポーツ(特注品)をご使用下さい。

Q 12 製品に折り目が付いた場合の対処法を教えてください。

A. 発送時にはロール状に梱包し発送する為、シワや折り目などがつく場合がございます。シワや折り目については逆巻にしたり、
スチームを使用する事でシワや折り目は補正できます。

<注意事項>

- パイル長については ±2mm程度は誤差があります。
- 本製品は材質上、夏場の暑さや冬場の寒さにより伸縮が発生する可能性があります。
特に暑さによる収縮については試験値では最大 0.5%の収縮が起こりますが、収縮率は設置条件、気象状況により異なりますので
ご注意下さい。日照が続くような施工場所では端部に余裕を持たせて施工する事をお勧めします。
- 本製品の色合いは生産ロットにより見本と多少異なる場合があります。
- 本製品は多少の色ムラがございますが、品質には問題ありません。人工芝のパイルを立たせることで色ムラは目立たなくなります。
- 使用頻度や使用状況により、パイルの磨減を早める可能性がありますのでご注意ください。
- 本製品の裏面はパイルを保護するためのコーティングを施してあります。
コーティングを剥がすとパイルが抜けるおそれがありますので、決して剥がさないで下さい。
- 発送時にはロール状に梱包し発送する為、シワや折り目等がついている場合があります。
シワや折り目については逆巻にしたり、スチームを使用してシワや折り目を補正して下さい。
- 本製品はあくまで景観用途の製品ですので、競技用途での使用はお勧めしません。
- 人工芝の上でスライディングすると擦過傷を起こすことがあります。
- 勾配がある場所に本製品を施工した場合や、本製品が水に濡れた場合は転倒等にご注意下さい。
- 製品規格、色合いを予告なしに変更する場合があります。
- E砂利下シート 85（スタンダードタイプ）・100（透水タイプ）を砂利下でご使用する場合、使用する砂利が尖っていると破れる可能性があります。
尖った砂利をご使用する際は、E防草シート 250（強力タイプ）をご使用下さい。
- E砂利下シート 85（スタンダードタイプ）・100（透水タイプ）は表層シートとしてお使い頂くには適しておりません。
表層でご使用する場合はE防草シート 250（強力タイプ）をご使用下さい。
E砂利下シート 85（スタンダードタイプ）・100（透水タイプ）を表層でご使用した場合、熱による収縮や紫外線による劣化が起こりやすくなり、破れの原因になります。
必ず砂利下でご使用頂き、砂利は 10 c m以上敷いてご使用下さい。砂利が薄い場合も同様の現象が起こる可能性がありますので、
ご注意下さい。
- 窓やガラス戸の近くに本製品を設置する場合、太陽光の反射熱により、直毛部分が縮れ枯草部分が目立つようになる可能性があります。
材質上、熱に弱い為、熱が高くなるような場所に設置する場合はご注意ください。
- 防災製品ですが、火気厳禁であり、高温のものを上に置くと変形や熔けるおそれがあります。
スチームをご使用する場合も適度に離してご使用下さい。
- 水はけの悪い場所でご使用する場合はカビ等が発生する可能性がありますので排水勾配等を設けて施工して下さい。
- 住宅の外壁と同じように使用年数の経過とともに多少色落ちする場合があります。
- カットする場合は裏面よりカッターナイフ等でカットして下さい。
また、パイルが縫い込んである部分をカットすると、パイルが多少抜けることがあります。
- 専用接着剤は水性で水分が多い為（約 30%）、硬化後に若干の縮みがあります。
接着剤に含まれている水分がなくなることで硬化する為、養生期間は 1 日以上必要になります。
また、接着する下地が樹脂モルタル、ポリマー入りのモルタルの場合、モルタルが接着剤の水分を吸収しにくい為、硬化までに時間が掛かります。養生期間を 3 日以上みるようにして下さい。
同様に水分が多い下地や高湿度（80%以上）の際は固まりにくくなりますので、養生期間を十分みるようにして下さい。ただし、水分が全くない状態では使用できなくなる恐れがある為、夏場の施工で接着面の表面温度が高い場合は、打ち水を行う等をして接着面の表面温度を下げてからご使用下さい。
- 専用接着剤は乾燥する前に雨に当たると溶けてしまいます（水性の為、接着面に水が流れることで溶けます）。
雨が降りそうなときは施工を見合わせて下さい。
- 専用接着剤は凍結すると使用不可能になります。冬場の施工、保管には十分ご注意ください。

<Eターフ (DUO・V) 標準施工 (下地:土)>

①

整地工



<下地>

- ・下地は透水性の良い土をご使用下さい。
- ・目の粗い砕石の場合、ピンが効かないおそれがあります。
- ・下地の透水性が悪い場合は排水勾配を設け、必要に応じて水下部に側溝等の排水設備を設けて下さい。
(水はけが悪い場合は水たまりやカビの原因になります。)

<整地と転圧>

- ・不陸の無いように整地した後、プレート等でしっかりと転圧して下さい。転圧不足は施工後の不陸による浮きやシワの原因になります。

②

シート敷設



<シートの敷設>

- ・E砂利下(防草)シート(またはジョイントシート)を土上に敷設します。
- ・E砂利下(防草)シートの継目は10cm以上ラップするようにして下さい。

<ピンでの固定>

- ・平米あたり3本~4本を目安にしっかりと固定して下さい。防草シートの浮きやシワが施工不良の原因になる可能性がある為、特に端部や浮きが目立つところはしっかりと固定して下さい。

③

本体準備



<シワ伸ばし>

- ・Eターフ本体はロール状で発送されますので、巻癖がついている場合があります。巻癖がある場合は逆巻したり、スチームクリーナー等で伸ばしてから使用して下さい。

<端部カット>

- ・Eターフ本体の芝の縫目には約7mmの間隔があります。継目の施工時は端部の縫目から出ている基布をカットすることで、継目が目立たなくなります。(左図参照)

<仮敷きと細部カット>

- ・Eターフ本体は裏面よりカッターで切るようにして下さい。表面から切ると芝糸が切れてしまい、きれいに仕上がりにません。
- ・必ず仮敷きを行い、現場の形状に合わせて細部をカットして下さい。仮敷きを行わずに施工すると細部のズレやシワ等の原因になります。
- ・Eターフ本体は熱により収縮が起こる可能性があります。直射日光が当たりやすい場所への施工では、端部については熱による収縮を考慮し、少し長めにカットして端部を仕上げて下さい。(収縮率0.5%程度)
- ・仮敷きの際は必ず芝目を合わせて下さい。芝目はお施主様が芝を見る方向に対して芝が逆立って見えるように施工して下さい。(左図は芝目の合わせ不良)
- ・障害物がある場合は切れ込みを入れたり、くり抜くことで障害物に合わせて加工しやすくなります。

端部のカット



芝目の合わせ不良



細部のカット

<Eターフ (DUO・V) 標準施工 (下地: 土)>

④

接着剤の塗布



- 水抜き穴や継目に注意して接着剤を塗布して下さい。水抜き穴や継目から接着剤がはみ出すと芝が固まり、景観を損ねます。また、下地に水を透水させる場合、水抜き穴を塞いでしまうと十分な排水が出来ません。はみ出した接着剤は付属の拭取り剤で拭取して下さい。
- 接着剤は下地またはEターフ本体に塗布して下さい。塗布量の目安は下地によっても異なりますが、下地がE砂利下(防草)シートの場合は 500 g/m^2 です。
- 接着剤は継目と端部に塗布して下さい。また、浮きが見受けられる部分についても接着剤を塗布し、圧着して下さい。
- 接着剤の溶剤が気化する際のガスで浮きが出る可能性がある為、**オープンタイムを十分取って**下さい。

⑤

Eターフ (DUO・V) 本体の敷設



- 端から順に貼り合わせると端部の調整がしやすくなります。
- 継目については両端をつまんで貼り合わせることで芝糸が巻き込まれずに施工出来る為、継目が目立ちにくくなり、調整もしやすくなります。

左図：継目を調整し、貼り合わせている様子

⑥

養生完了



<圧着と養生>

- 施工後、特にシワがついている場合はしっかりと伸ばし、浮きが見受けられる場合はその部分をしっかりと圧着し、養生して下さい。
- 左図のように浮きが心配な部分にコンパネや土嚢袋等で養生すると施工後の浮きやシワを抑えることができます。

<Eターフ (DUO・V) 標準施工 (下地: コンクリート)>

①

下地



<下地の確認>

- 新設のコンクリートまたはモルタルの場合は養生をしっかりと、乾燥状態になってから施工をお願いします。
下地がアスファルトの場合、油分が残っていると接着剤が使用できません。
しっかりと乾燥しているかどうかご確認ください。
(新設のアスファルトへの接着施工はお薦めできません)
- 下地がFRPの場合、そのままでは接着できない可能性があります。
表面を少し削ることで接着剤が馴染みやすくなりますが、接着可能かどうか試してから施工して下さい。
- 表面の大きな不陸(凹凸)がある場合はモルタル等で表面が均一になるように補修して下さい。
- Eターフ(DUO, V) 表面より水下方向へ排水しますので、必ず排水勾配を設けて施工して下さい。

<清掃>

- 表面のゴミやホコリ、油分等を除去して下さい。
ゴミやホコリ、油分等が残っていると接着不良の原因になります。

②

本体準備



<シワ伸ばし>

- Eターフ本体はロール状で発送されますので、巻癖がついている場合があります。巻癖がある場合は逆巻したり、スチームクリーナー等で伸ばしてから使用して下さい。

<端部カット>

- Eターフ本体の芝の縫目には約7mmの間隔があります。
継目の施工時は端部の縫目から出ている基布をカットすることで、継目が目立たなくなります。(左図参照)

<仮敷きと細部カット>

- 端部のカット
- Eターフ本体は裏面よりカッターで切るようにして下さい。
表面から切ると芝糸が切れてしまい、きれいに仕上がりにません。
- 必ず仮敷きを行い、現場の形状に合わせて細部をカットして下さい。
仮敷きを行わずに施工すると細部のズレやシワ等の原因になります。
- Eターフ本体は熱により収縮が起こる可能性があります。
直射日光が当たりやすい場所への施工では、端部については熱による収縮を考慮し、少し長めにカットして端部を仕上げて下さい。
(収縮率 0.5%程度)
- 仮敷きの際は必ず芝目を合わせて下さい。
芝目はお施主様が芝を見る方向に対して芝が逆立って見えるように施工して下さい。(左図は芝目の合わせ不良)
- 障害物がある場合は切れ込みを入れたり、くり抜くことで障害物に合わせて加工しやすくなります。



芝目の合わせ不良



細部のカット

<Eターフ (DUO・V) 標準施工 (下地: コンクリート)>

③

接着剤の塗布



- ・水抜き穴や継目に注意して接着剤を塗布して下さい。
水抜き穴や継目から接着剤がはみ出すと芝が固まり、
景観を損ねます。下地がコンクリートの場合、表面排水
となる為、水抜き穴は養生テープで塞いでも構いません。
はみ出した接着剤は付属の拭取り剤で拭取って下さい。
- ・接着剤は下地またはEターフ本体に塗布して下さい。
塗布量の目安は下地によっても異なりますが、
コンクリートの場合は $500\text{g} \sim 600\text{g}/\text{m}^2$
アスファルト等の場合は $600\text{g} \sim 800\text{g}/\text{m}^2$
- ・接着剤の溶剤が気化する際のガスで浮きが出る可能性が
ある為、**オープンタイムを十分取って**下さい。

④

Eターフ (DUO・V) 本体の敷設



- ・端から順に貼り合わせると端部の調整がしやすくなります。
- ・継目については両端をつまんで貼り合わせることで芝糸が
巻き込まれずに施工出来る為、継目が目立ちにくくなり、
調整もしやすくなります。

左図：継目を調整し、貼り合わせている様子

⑤

養生完了



<圧着と養生>

- ・施工後、特にシワがついている場合はしっかりと伸ばし、
浮きが見受けられる場合はその部分をしっかりと圧着し、
養生して下さい。
- ・左図のように浮きが心配な部分にコンパネや土嚢袋等で
養生すると施工後の浮きやシワを抑えることができます。

<Eターフ (DUO・V) 両面テープでの施工>

①

下地の確認

ジョイントシートの準備と



<ジョイントシートの準備>

- ・本製品は樹脂製品につき、温度差による伸縮があります。継目にジョイントシートを使用（別売接着剤）することで、継目の（ジョイント部）の開きを軽減します。

<下地の確認>

- ・下地がアスファルトの場合、油分が残っていると両面テープが使用できません。しっかりと乾燥しているかどうかご確認ください。
(新設のアスファルトへの両面テープ施工はお勧めできません)
- ・下地がFRPの場合、そのままでは接着できない可能性があります。表面を少し削ることで両面テープが馴染みやすくなりますが、接着可能かどうか試してから施工して下さい。
- ・表面の大きな不陸（凹凸）がある場合はモルタル等で表面が均一になるように補修して下さい。
- ・両面テープの厚みが約1mmですので、表面に大きな不陸（凹凸）が多数ある場合は粘着力が低下する恐れがあります。モルタル等で表面が均一になるように補修して下さい。
- ・Eターフ (DUO, V) 表面より水下方向へ排水しますので、必ず排水勾配を設けて施工して下さい。

<清掃>

- ・表面のゴミやホコリ、アスファルトの場合は油分を除去して下さい。
ゴミやホコリ、油分等が残っていると接着不良の原因になります。

②

本体準備



<シワ伸ばし>

- ・Eターフ本体はロール状で発送されますので、巻癖がついている場合があります。巻癖がある場合は逆巻したり、スチームクリーナー等で伸ばしてから使用して下さい。

<端部カット>

- ・Eターフ本体の芝の縫目には約7mmの間隔があります。継目の施工時は端部の縫目から出ている基布をカットすることで、継目が目立たなくなります。(左図参照)

<仮敷きと細部カット>

端部のカット

- ・Eターフ本体は裏面よりカッターで切るようにして下さい。表面から切ると芝糸が切れてしまい、きれいに仕上がりにません。
- ・必ず仮敷きを行い、現場の形状に合わせて細部をカットして下さい。仮敷きを行わずに施工すると細部のズレやシワ等の原因になります。
- ・Eターフ本体は熱により収縮が起こる可能性があります。
直射日光が当たりやすい場所への施工では、端部については熱による収縮を考慮し、少し長めにカットして端部を仕上げて下さい。
(収縮率0.5%程度)
- ・仮敷きの際は必ず芝目を合わせて下さい。
芝目はお施主様が芝を見る方向に対して芝が逆立って見えるように施工して下さい。(左図は芝目の合わせ不良)
- ・障害物がある場合は切れ込みを入れたり、くり抜くことで障害物に合わせて加工しやすくなります。



芝目の合わせ不良



細部のカット

<Eターフ (DUO・V) 両面テープでの施工>

③

両面テープの貼付



- ・両面テープはEターフ本体に貼り付けて下さい。
敷地の形状にもよりますが、貼付目安は
10㎡あたり3巻～4巻です。
- ・水勾配を考慮し、水路を妨げないように貼り付けて下さい。
- ・継目にジョイントシートを使用する場合はジョイント
シートの中心部にKターフ本体の継目がくるように
割り付けた後、ジョイントシートに両面テープを貼り
付け、圧着して下さい。

④

Eターフ (DUO・V) 本体の敷設と継目の接着



継目を調整し、貼り合わせている様子



ジョイントシートに接着剤を塗布する様子 (写真は下地が土)

<本体の敷設>

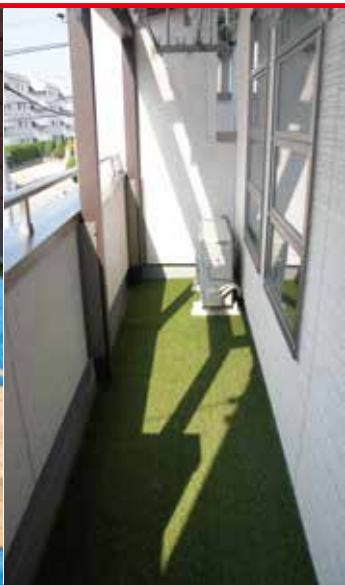
- ・端から順に貼り合わせると端部の調整がしやすくなります。
- ・継目については両端をつまんで貼り合わせることで芝糸が
巻き込まれずに施工出来る為、継目が目立ちにくくなり、
調整もしやすくなります。

<継目の接着>

- ・水抜き穴や継目に注意して接着剤を塗布して下さい。
水抜き穴や継目から接着剤がはみ出すと芝が固まり、
景観を損ねます。両面テープ施工の場合、継目は表面排水
となる為、水抜き穴は養生テープで塞いでも構いません。
はみ出した接着剤は付属の拭取り剤で拭取して下さい。
- ・接着剤はジョイントシートに塗布して下さい。
塗布量の目安は500g/㎡です。
- ・接着剤の溶剤が気化する際のガスで浮きが出る可能性が
ある為、**オープンタイムを十分取って**下さい。

⑤

養生完了



<圧着と養生>

- ・施工後、特にシワがついている場合はしっかりと伸ばし、
浮きが見受けられる場合はその部分をしっかりと圧着し、
養生して下さい。
- ・特に継目は圧着、養生をしっかりと行って下さい。
- ・その他、左図のように浮き心配な部分にコンパネ等で
養生すると施工後の浮きやシワを抑えることができます。

<施工後の取外しについて>

- ・施工後に本体の取外しはできますが、出来ませんが、両面
テープが強力な為、下地にテープが付着する場合が
あります。ヘラを使用して剥がすと綺麗に剥がす
ことができます。

<Eターフ (DUO・V) 屋上施工 (ジョイントシートによる継目の接着施工)>

①

下地



<下地の確認>

- 新設のコンクリートまたはモルタルの場合は養生をしっかりと、乾燥状態になってから施工をお願いします。
下地がアスファルトの場合、油分が残っていると接着剤が使用できません。
しっかりと乾燥しているかどうかご確認ください。
(新設のアスファルトへの接着施工はお薦めできません)
- 下地がFRPの場合、そのままでは接着できない可能性があります。
表面を少し削ることで接着剤が馴染みやすくなりますが、接着可能かどうか試してから施工して下さい。
- 表面の大きな不陸（凹凸）がある場合はモルタル等で表面が均一になるように補修して下さい。
- Eターフ (DUO, V) 表面より水方向へ排水しますので、必ず排水勾配を設けて施工して下さい。

<清掃>

- 表面のゴミやホコリ、油分等を除去して下さい。
ゴミやホコリ、油分等が残っていると接着不良の原因になります。

②

本体準備 (シワ伸ばし・端部カット・細部カット)



端部のカット



芝目の合わせ不良



細部のカット

<シワ伸ばし>

- Eターフ本体はロール状で発送されますので、巻癖がついている場合があります。巻癖がある場合は逆巻したり、スチームクリーナー等で伸ばしてから使用して下さい。

<端部カット>

- Eターフ本体の芝の縫目には約7mmの間隔があります。
継目の施工時は端部の縫目から出ている基布をカットすることで、継目が目立たなくなります。(左図参照)

<細部カット>

- Eターフ本体は裏面よりカッターで切るようにして下さい。
表面から切ると芝糸が切れてしまい、きれいに仕上がりにません。
- 現場の形状に合わせて細部をカットして下さい。
細部のカットを行わず無理矢理現場に合わせるとズレの原因になります。
- Eターフ本体は熱により収縮が起こります。特に屋上では温度が高くなり易く、収縮も起こり易くなります。
端部については熱による収縮を考慮し、少し長めにカットして端部を仕上げて下さい。(収縮率 0.5%程度)
- 必ず芝目を合わせて下さい。
芝目はお施主様が芝を見る方向に対して芝が逆立って見えるように施工して下さい。(左図は芝目の合わせ不良)
- 障害物がある場合は切れ込みを入れたり、くり抜くことで障害物に合わせて加工しやすくなります。

<Eターフ (DUO・V) 屋上施工 (ジョイントシートによる継目の接着施工)>

③

ジョイントシートの敷設と接着



ジョイントシートに接着剤を塗布する様子 (写真は下地が土)



継目を調整し、貼り合わせている様子

<ジョイントシートの敷設>

- ・継目についてはジョイントシートを使用して下さい。
ジョイントシートの中心部にEターフ本体の継目がくるように割り付けた後、ジョイントシートと接着剤で継目を接着します。
※ジョイントシートを使用し、継目を接着することで
施工後の継目の開きを抑えることができます。

<継目の接着>

- ・接着剤はジョイントシートに塗布して下さい。
塗布量の目安は 500 g / m² です。
- ・水抜き穴や継目に注意して接着剤を塗布して下さい。
水抜き穴や継目から接着剤がはみ出ると芝が固まり、
景観を損ねます。継目は表面排水となる為、水抜き穴は
養生テープで塞いでも構いません。
はみ出した接着剤は付属の拭取り剤で拭取って下さい。
- ・接着剤の溶剤が気化する際のガスで浮きが出る可能性がある為、**オープンタイムを十分取って**下さい。
- ・継目については両端をつまんで貼り合わせることで芝糸が
巻き込まれずに施工出来る為、継目が目立ちにくくなり、
調整もしやすくなります。

④

養生完了



圧着・養生の様子



施工完了後の様子

<圧着と養生>

- ・施工後、特にシワがついている場合はしっかりと伸ばし、
継目部分で浮きが見受けられる場合はその部分をしっかりと
圧着し、コンパネや土嚢袋等で養生して下さい。
- ・Eターフは日数の経過とともに下地に馴染んでいきます。

<Eターフ（DUO・V） その他>

施工道具

<施工時に使用する道具と用途>

- ・カッターナイフ
Eターフ、E防草（砂利下）シート等を加工する際に使用します。
- ・定規（鋼尺）、巻尺（スケール）
現場の採寸、直線を切るときに使用します。
※スタッフがあると長い距離を切るときに便利です。
- ・ハンマー
固定ピンの固定に使用します。
- ・マーカー（建築用ペン、チョーク、チョークライン等）
加工するラインをEターフ本体裏面に書き込むことで加工しやすくなります。
チョークラインは継目の目印として使用でき、接着剤を塗布する際に役立ちます。
- ・転圧機（プレート）、整地道具
下地の調整に使用します。
- ・掃除機またはブロアー
施工後の掃除に使用します。
- ・養生用資材（コンパネ、土嚢袋等）
圧着、養生を行う際に使用します。

<その他あったら便利なもの>

- 養生テープ 継目部分の芝に貼ることで接着剤を塗布する際に接着剤が芝に付着するのを防止できます。
- 熊手 施工後に芝を立てる際に便利です。（先が尖っているものは不可）
- スチームリナー Eターフ本体のシワ伸ばしに使用します。（長時間同じ場所を温めると芝が縮れる場合があります）

接着剤施工時の注意点

<接着不良の原因>

- ・下地が十分に乾燥しているか確認します。
- ・塗布面を清掃し、ゴミやホコリ、土砂等を除去します。
- ・接着剤が硬化する前の水分の混入は避けて下さい。

<接着剤塗布時の注意点>

- ・接着剤は塗ムラが無いように塗布して下さい。
塗ムラが施工後のたわみや浮きの原因になる可能性があります。
- ・勾配がある場合は水勾配、Eターフ（DUO、V）の水抜き穴に沿って、水路を確保するように接着剤を塗布して下さい。
- ・気温が5℃以下、下地が5℃以下の場合は使用しないで下さい。

オープンタイム・貼付け可能時間の目安

	オープンタイム	貼付け可能時間 (オープンタイム後)
夏(25℃～35℃)	10～20分	40～60分
春・秋(15℃～25℃)	10～20分	40～60分
冬(5℃～15℃)	20～30分	40～60分

硬化時間の目安

※冬場で湿気が少ない場合は、硬化する時間が少し長く（プラス1日～2日）掛かります。

	硬化時間
夏(25℃～35℃)	約1日
春・秋(15℃～25℃)	約1日
冬(5℃～15℃)	約2日

- ※下地の状況により変わります。
- ※指で触って表面に薄い皮が張り始めたら施工して下さい。
- ※接着剤に触れて粘着性があるうちは貼り合わせ可能です。